

日本共産党 和歌山市会議員

ひめだ高宏ニュース

NO.1195

18.4.3

2月定例会市議会報告

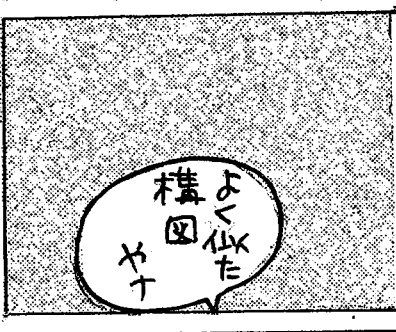
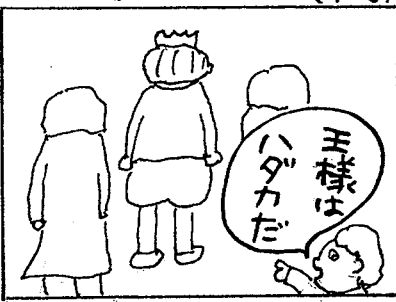


先週号に桜が咲いているのに気がついたら書いた翌日、テレビで紀三井寺の桜が満開になったと書いたのにはビックリしました。まわりの景色をあまり見てないのです。本号は、新年度予算の概要と最終日の議案発議についての報告です。

新年度予算の概要について

2018年度は、一般会計1509億9980万2千円、特別会計978億9486万7千円、公営企業会計(水道・下水道)416億6523万5千円、合計2905億5990万4千円です。
一般会計の内訳は民生費44.2%、公債費10.6%、土木費10.5%、総務費8.4%、教育費7.4%、衛生費6.0%、消防費3.1%、商工費2.5%な

いで、その財源は、市税38.2%を含む自主財源が47.1%、依存財源は国庫支出金21.1%、市債11.5%、地方交付税7.2%、国庫支出金6.8%、地方消費税交付金4.7%などです。
一般会計の新規事業の主なものは、広域防災活動拠点の整備へ緊急消防援助隊等の受け入れ拠点を岡崎第2工場跡地に整備し6145万6千円、新市民図書館の書架等の設置2892万3千円、官民連携による難波崎観光拠点整備へ寄附受け予定の古民家利用し2461万7千円、和歌山城前広場及び市道中橋線の整備



今週のフツーの人々 (その141)

国民には見えていないゾ!!

バカには見えないという布地で作った王様の新しい衣装。王様も大臣も家来もバカと思われたいのでみんなが見えるフリをします。パレードで子どもが叫びます「王様は裸だ!」と。アンデルセンの「裸の王様」です。見えないものが見えるのとフンを言う王様に誰も逆らえないのです。

森友学園への国有地売却払いの際に8億円もの値引きしたことに関する

2066万4千円、洪水いガードマップの作成2021万3千円、東京大学加太分室の設置1800万円、基幹相談支援センターの設置へ障害福祉従事者の育成と高度な相談支援体制の構築1800万円、バスロケーションシステム導入補助1333万4千円など。

決裁文書の改ざんについて、当時の理財局長サガワ氏の証人喚問が行われました。証言拒否が繰り返されたことで国民の疑惑は、ますます深まったのではないのでしょうか。
ところが、アベ首相や二階自民党幹事長は「政治家の関わりがなかったことがわかった」と言っています。見えないものが見えると言おうアベ首相がダブって見える気がしません。



ひめだ高宏

バスロケーションシステムとは

GPSを用いて、バスの現在位置やバス停への到着予定時刻などの運行情報をリアルタイムで携帯電話・

パソコン・デジタルサイネージに情報提供するシステムを導入する和歌山バスに3分の2補助します。

2件の議員発議に反対

日本共産党
市会議員団

日本共産党以外の4会派から提出された「2025年国際博覧会の誘致に関する決議案」は大阪・関西における万国博覧会の開催を支持し誘致活動を支援する

というものです。この万博開催について、日本共産党大阪府議団は16年11月「萬洲での万博開催は府民福祉と府財政を悪化させる」と反対する見解を発表してい

ます。同じく4会派提出の「台湾のCDTPP参加に関する決議案」はTPPからアメリカが離脱し名称が変更したCPTPP(包括的及び先進的な環太平洋パートナーシップ協定)に台湾の加入を求めるというものです。賛成を始め経済と暮らしに打撃を与え、ことに違いはありません。

こんどは松坂みち子が

お花見

お花見にアコーデイオンを持って行ってみんなで歌うとき、周りにはほかのグループもあり、少々気を遣います。

先日ある場所で弾き始

めると、隣のグループではリズムをとったり拍手しているのが見えました。また、準備をしていた人から「あとで高齢者の方々と来るので一緒に歌わせてほしい」と要請もありました。さらに気づけていたら、別のグループの方から「もっとやって欲しかった」と言

わられたよ」との話もありました。喜んでもらっていたことを知り、うれしい限りです。



松坂みち子 (県議予定候補)

ただ、「私今度、県政に挑戦します」とは言えていないのが、残念ではあります。

潮流

(18.3.26日刊市報)

「黒い反が空に舞っている。紙を焼いているにちがいない。戦隊組織に関する書類らしいという」。作家の高見順は1945年8月16日の日記にその書き付け

いや改せんは目に余ります。南スーダンの自衛隊日報から森友・加計問題まで。情報隠しを際限なくひろげる特定秘密保護法も強行しました。国民の知る権利を縛りつけ、権力の監視を妨げていきます。▼公文書は「健全な民主主義の根幹を支える国民共有の知的資源」で「主権者である国民が主体的に利用し得るもの」と法に定められています。それを

文書。それは戦争責任を逃れようとする人たちの証拠隠滅だった。日本近現代政治史を専門とする瀬畑源一さんは、いかに行政が公文書を認知的に扱ってきたかを自著で解き明かします。▼情報隠されたまま国民を戦争に引きずり込んだ戦前情報公開や公文書の管理体制が世界から立ち遅れた戦後。野党から追及されてもきちんと説明もせず、いまもかくごすまの安倍首相や閣僚の姿勢は、公文書管理の骨が折れぬように、隠してしまおうという▼実際、安倍政権は公文書隠し

過ちをくり返すことになりがちです。▼自民党の大会で安倍首相は憲法に自衛隊を明記する決意を改めて示しました。歴史を振り返り、闘争する勢力がぬらりつ戦争する国「づくり」。現在も、この将来の国民のために、この憲法を守る資格はありません。

「赤旗」日刊紙、497円/月、日曜版、823円/月

赤旗 日刊紙、497円/月、日曜版、823円/月